

平成30年10月1日より、 地域包括ケア病棟35床を開設しました。

● 地域包括ケア病棟とは

急性期治療後に症状が安定した方、すぐに在宅や施設へ退院するには不安のある方、在宅療養中の方の一時入院など、様々な方を支援し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリテーションを行うことを目的とした病棟です。患者さんが安心して円滑に退院できるよう、医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどが協力し、在宅復帰に向けたサポートを行います。

● 対象となる患者さん

- 急性期治療後、症状が安定したものの、もう少し経過観察が必要な方
- 症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- 在宅や施設への退院に向けて調整・準備が必要な方
- 介護者の休養のための一時的入院の方など
- 短期の手術入院の方
- 糖尿病の血糖コントロールや教育入院の方



● 入院に関する留意点

入院費は医療保険が適用されます。なお、**入院期間は最長60日まで**とし、あらかじめ期間を決めて利用していただきます。原則、月曜日～金曜日の平日での入院となります。

入院から退院までの流れ



● 申込窓口について

入院に関するお問い合わせは、地域医療連携室へお電話をいただき、「地域包括ケア病棟への入院を依頼したい」とお申し付けください。入院を希望される方の状態によっては、外来受診をしていただく場合もございます。また、一般病棟での経過観察後に地域包括ケア病棟へ入院となる場合もございます。

社会保険 仲原病院

〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北2-12-1

TEL: 092-621-2802 (代表) FAX: 092-621-3030

地域医療連携室直通: 080-4024-8738 (担当: 南里・松本・今井)

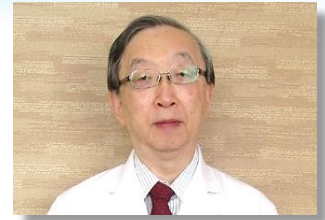
ホームページ: <http://nakabaru-hp.jp/>



「地域包括ケア病棟」開設にあたって

◆ 地域の皆さまのニーズに応える医療を提供いたします。

社会の高齢化に伴い、医療の在り方も変化しています。高齢になるほどに、複数の病気を抱え、また、病気の回復に要する時間も長くなります。入院して治療をしても、すぐに自宅に戻ることによる不安を感じる方も多くあります。ある程度の期間を病院で過ごすことができれば、と望まれる方も多くあります。仲原病院では、このようなニーズに応えられるように、35床のベッドを有する地域包括ケア病棟を開設いたしました。治療後の回復期を過ごすための病棟です。皆様のお役に立てますことを、職員一同心より願っております。



病院長
岡嶋 泰一郎

◆ 退院後の在宅での安心安全な薬物療法を目指して

地域包括ケア病棟に入院された患者さんにとって、最適な薬物療法が実施されるよう、入院時にご持参いただいたお薬から入院中・退院時までのお薬を管理いたします。そして、退院後の在宅での薬物療法の質向上に貢献できるよう、病棟専任薬剤師が支援いたします。お薬についてご質問やご不安なことがありましたら、病棟専任薬剤師にいつでもお気軽にお声かけください。



薬局スタッフ

◆ 「ときどき入院、ほぼ在宅」をつなぐ病棟を目指して

地域包括ケア病棟では、患者さんが退院後、安心して生活できるように必要なケアの指導、社会サービスの調整、リハビリなども柔軟に対応します。また、自宅療養中の患者さんを支える家族の休養のための入院も可能です。60日以内という入院期間の中で、早期に退院後の生活をイメージしながら、多職種スタッフでカンファレンスを重ね、患者さんが笑顔で退院されることを目標に看護を提供いたします。



地域包括ケア病棟スタッフ

◆ 在宅復帰に向けて、希望に沿ったリハビリを

地域包括ケア病棟におけるリハビリの目的は、在宅復帰に向けて患者さんの運動機能や動作能力を専門的に評価し、その人らしい在宅生活が送れるように治療やサポートをしていくことです。退院する際に、在宅生活に何らかの不安を抱えている患者さんやご家族が多いと感じています。できるだけ退院後の生活を想定し、最大限の能力を発揮できるように希望に沿ったより良いリハビリを提供していきたいと考えています。



リハビリスタッフ

◆ 様々な職種、地域との密な連携で、入退院支援を

医療ソーシャルワーカーは、主に入退院支援を担当します。退院時は、気持ちの整理や物、サービスなどの様々な準備が必要になる場合があります。そんなとき、院内の多職種やケアマネジャーをはじめとする、地域の医療・保健・介護サービス機関の各スタッフと協力し、在宅復帰に向けたお手伝いをします。退院後の生活や在宅療養で不安なことがありましたら、いつでもご相談ください。



地域医療連携室スタッフ